

2024 年 1 学期 アメリカ政治 I (庄司) 試験問題

2024 年 7 月 24 日 3 限

注意：持ち込みは不許可です。

【1】 以下のアメリカに関する設問について、設問番号と解答を解答用紙に書きなさい。
解答は必ず設問番号順に書くこと。(配点 20 点)

1. 1787 年に開催されたフィラデルフィア会議（憲法制定会議）では、新憲法の下で設置される連邦議会における州の代表のあり方をめぐり対立が生じた。以下のうちから正しいものをひとつ選べ。
(ア)土地面積の大きい邦と小さい邦の対立が主要な軸となった。
(イ)人口の多いヴァージニアなどの邦は、各邦(州)が平等に代表されることを求めた。
(ウ)「偉大なる妥協」により、ニュージャージー・プランの理念は下院に反映されることになった。
(エ)議席配分にあたり、黒人奴隷の扱いをめぐって南部プランターとニューイングランド商人が対立した。
2. 1788 年に批准された合衆国憲法で採用されなかった制度をひとつ選べ。
(ア)連邦下院は、条約の批准を行い、予算法案を提出する。
(イ)連邦上院議員は州議会によって任命される。
(ウ)連邦政府がもつのは憲法に「明示された権限」のみである。
(エ)連邦司法府の判事は終身制とする。
3. アンタイ・フェデラリストの主張として正しくないものをひとつ選べ。
(ア)代表は人民を映した鏡のようであってはならない。
(イ)理想的な代表のあり方を実現するためには、均質性の高い小さな共和国が望ましい。
(ウ)最大の脅威は多数派の専制である。
(エ)新憲法には権利の章典が必要である。
4. 連邦憲法制定以後に実現した憲法修正に含まれないものをひとつ選べ。
(ア)奴隷制廃止
(イ)下院議員の直接選挙
(ウ)女性参政権

(エ)大統領の当選回数の制限

5. 連邦議会における 1970 年代の委員会制度改革について、正しくないものを選べ。

(ア)民主党が主導した。

(イ)委員会の委員長の選出方法は、先任制から任命制に変わった。

(ウ)小委員会が増設されて、権力が断片化した。

(エ)委員会審議を公開するようになり、議員間の合意形成が難しくなった。

- 【2】** 以下の項目の中からふたつ選び、その内容とアメリカ政治における重要性や意義を各 5 行以内で論じなさい。必ず問題番号と項目名をまず書き、改行してから解答し始めること。(英語表記は参考のため記した。答案には書かなくてよい。)(配点 40 点)

(1) マイノリティ多数選挙区(majority minority district)

(2) ゼロ・ベース予算

(3) 「官僚による漂流(bureaucratic drift)」と「連合の漂流(coalitional drift)」

(4) 2000 年大統領選挙と連邦最高裁

- 【3】** 以下の設問からひとつ選んで 30 行程度で論じなさい。(配点 40 点)

1. アメリカにおける市民的自由と市民的権利の特徴を、両者の違いが明確にわかるように説明し、それぞれがどのように歴史的に発展してきたかを代表的な判例や転機となった事件をもちいて論じなさい。
2. 大統領と議会の関係について、憲法に描かれた姿と 19 世紀の様子、「大統領主導型政府」になるまでの歴史的経緯を説明しなさい。その際、変化の契機となった歴史的出来事やその時期、大統領の「帝王化」が問題となった具体的事例にも言及しなさい。
3. 議会や行政府全般との関係において、大統領が強いイニシアティヴを発揮するための、フォーマルおよびインフォーマルなリソースについて概観し、特にメディアとの関係と「行政的アプローチ」のふたつについて近年の変化を詳しく論じなさい。

(以上)